

**令和3年度中高連携英語力向上推進事業**  
**「岩手県 Kenji Cup 高校生英語ディベート大会」 “Online” 実施要項**

令和3年9月28日  
岩手県教育委員会事務局学校教育室

## 1 趣旨

新学習指導要領における三つの資質・能力（「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」）の更なる育成を目指し、外国語における複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、生徒の英語発信力の向上に資する。

なお、昨今の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、実施に係る感染リスクをできる限り抑えること、及び上位大会である全国大会が昨年度からオンライン実施となっていることに鑑み、本大会をオンラインにより実施することとする。

## 2 主催

岩手県教育委員会

## 3 共催

岩手県高等学校教育研究会英語部会

## 4 期日

令和3年11月3日（水・祝） 8:15～17:30（予定）

## 5 開催形態

Zoomによるオンライン開催（一般社団法人全国高校英語ディベート連盟（HENDA）アカウント利用）

## 6 参加条件（例年通りとする）

- (1) 岩手県内の高校生を対象とする。ただし、英語のネイティブスピーカーを除く。
- (2) 次のア～ウの海外生活経験者等の条件に該当する者は1チーム2名までとし、各試合に出場できるのは1名までとする。（試合ごとの変更は可能）
  - ア 英語を第1言語とする国で12ヶ月以上滞在経験のある生徒（就学前の滞在は不問）
  - イ 英語を第2言語とする国の出身である生徒（就学前の滞在は不問）
  - ウ 家庭で常用的に英語を使用している生徒※ 全国大会においては試合ごとの出場制限は設けず、条件該当者も各試合最大2名とも出場可能であること。
- (3) 出場校の英語教員が引率者となること。ただし、外国語指導助手等は引率者を兼ねることはできない。  
教員採用試験で教諭採用となった外国籍の講師は引率者となることができる。（岩手条件）

## 7 チーム構成

- (1) 1校から参加できるのは2チームまでとする。
- (2) 1チームの登録選手は4名から6名とする。各試合のチェアパーソン（司会）及びタイムキーパー（計時）は、原則として対戦校どちらかの生徒（登録選手である必要はない）が担当する。
- (3) 各試合への出場選手は4名とし、試合ごとの選手の入替は可能とする。

## 8 引率

- (1) 引率教員（日本人英語教員）は1チームにつき1名とし、当日は試合のジャッジを担当することを原則とする。
- (2) 参加校に所属する外国語指導助手等は、試合のジャッジを担当するものとする。

## 9 論題（全国大会における論題に準ずる）

Resolved: That the Japanese Government should relocate the capital functions out of Tokyo.

日本政府は、首都機能を東京の外に移転すべきである。是か非か。

## 10 日程詳細

参加チーム数が確定した後、組合せとともに参加校に後日通知する。

## 11 競技規則

基本的には全国高校生英語ディベート大会に準じるが、新型コロナウイルス感染症に関わる状況、参加校数等を考慮し、変更もあり得ることから、詳細については参加校に後日通知する。

## 12 大会申込方法

既に提出している場合でも、添付の様式により下記により改めて提出すること。

### (1) 県立高等学校の場合

Desknet'sNEO「全県フォルダ」の「03\_県教委提出【保存期限1年】」>「C2\_学校教育室\_学力向上担当」>「【R031015 期限】Kenji Cup オンライン参加申込」に参加申込書（様式）を 10月15日（金）までに提出すること。

### (2) 盛岡市立高等学校、私立高等学校の場合

下記担当者宛てメールにて参加申込書（様式）を 10月15日（金）までに提出すること。

## 13 メンバー変更

(1) 組合せ抽選会（ディベート運営委員会 10月21日（木）14:00～16:00 予定）以降のメンバー変更は基本的に禁止とする。

(2) 無断でメンバー変更があった場合は、基本的に失格とする。複数チームが出場している学校のチーム間の移動があった場合も同様。

(3) 当日の病欠等、メンバー変更をしなければならない、やむを得ない事情がある場合は、高等学校教育研究会英語部会のディベート担当（主任1名、副主任2名）と主催者（教育委員会担当者）で協議し、変更の可否を判断するものとする。

## 14 上位大会への出場権

参加校数が11校未満2校以上の場合は優勝校1校、参加校数が11校以上の場合は優勝校1校と準優勝校が県代表として本年12月18日（土）～19日（日）に開催される「第16回全国高校生英語ディベート大会“Online”」への出場権が与えられる（オンラインによる全国大会は昨年度から実施されていること）。全国大会への選抜基準は一般社団法人全国高校英語ディベート連盟の規定によるものであり、今後変更の可能性もあること。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症に関わる状況によって、上位大会の中止、内容変更等がある場合は、別途通知すること。

## 15 その他

(1) オンライン実施に係る連絡事項等については、別途参加校に連絡すること。なお、試合に係るエビデンスの共有についても、連絡事項等の内容に従うこと。

(2) 本大会は、本県出身の詩人宮沢賢治が花巻農学校（現 花巻農業高等学校）での教師時代、既にディベートを授業に取り入れていたことにちなんで、Kenji Cup と命名して開催するものである。

担 当

学力向上担当

主任指導主事 松本 諭

TEL: 019-629-6162 FAX: 019-629-6144

Email: satoshi-matsumoto@pref.iwate.jp